

# Handsosome

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 岩田慎介 編集責任者 萬田寿夫 印刷所 東京印刷株式会社

## 1月例会

1月16日（水）、ホテルサンルート米子において2002年最初の例会（きずな委員会担当）が開催された。最初に岩田会長から、『これからの時代は（家庭の・企業の・私的の）女性がカギを握る。これらの女性と上手く付き合っていく事が今後重要となっていく。』と述べられた。続いて1月入会者（北口智明会員）のバッチ授与式の後、委員長タイムがあり、情報メディア委員会の若槻委員長から上半期時点での成果報告と下半期に向けての取り組み方針が発表された。

今月は（財）21世紀職業財団鳥取事務所長 三田三香子氏、鳥取労働局雇用均等室長 大西ふみ子氏のおふたりをパネリストに迎え、湯原委員長進行によるパネルディスカッション形式で「モチベーションを向上させるために ―企業内女性の理解と活性化―」という演題で行われた。自己紹介に続いて、おふたりの家庭と仕事の両立、そして女性であるが故の仕事上の障害に関しては、『環境・職場は比較的恵まれていたが、とにかく時間がないなどむしろ生活者としての悩みがあった。』[大西氏]『何事もプラス思考でこなしていき苦労した実感はなかったが、職場内に固定的な概念が根強く残っており払拭する事が大変であった。』[三田氏]と語られた。雇用均等における企業の先進事例については、『ポジティブ・アクション（男女格差の是正への取組）に取り組む企業も出て来ているが、もっと企業が男女差ではなく個々の能力を見極め活かして欲しい。』[大西氏]と説明された。支援制度については（財）21世紀職業財団の支援として、ファミリーフレンドリー企業（家庭に優しい・両立しやすい企業）づくり、仕事と家庭の両立のための各種助成金の説明がなされた。最後にモチベーションを向上させるためには、『企業がもっと発信すること、対女性との信頼関係をしっかりと築いていくこと、男女差なくヒトを活かしていくこと、それが企業（組織）の活性化につながる。』[大西氏]『固定観念を捨ててチャンスは平等に与える。具体的に各人の良さを引き出す。』[三田氏]と説明された。



会員からの『価値観の違う女性に対して会社側がモチベーションを上げるにはどうすれば良いか?』という質問には、『最初から決めつけてしまわず平等に発信すべき。』[大西氏]『企業は女性だから、男性だからといった先入観を持たず柔軟な考えを示して欲しい。』[三田氏]の回答を頂いた。

今回のパネルディスカッションを通じて、会員ひとりひとりが、男女の格差なく仕事と家庭が両立出来る職場づくり、更には男女共同参画社会づくりを意識して進めていくべきであると強く感じた。

（広報：渡辺一徳）

## 温故知新

～第22期ご卒会、平成6年度県会長を務められた角田茂樹OBにお話を伺いました～

（入会されたきっかけと在籍中のお話をお聞かせ下さい。）

昭和56年に故・後藤利之OB（後藤太良会員のお父さん）に誘われて入会しました。社業が写真現像という専門業種で、人との付き合いの中も狭かったために、『もっと違う業種の人達と知り合って色々な話を聞いてみたい。』というおもいが強く、勧められるまま入会しました。入会時が30才だったので丸々15年在籍していたことになります。入会当初はそこそこ出ていましたが、中だるみの期間もありました（笑）。ですが、ある出来事を機に、その後は真面目に出るようになりました。委員長・県出向・副会長・県会長の役職を経験しましたが、まわりに随分助けられ、支えてもらって何とかやってこれたとおもいます。

（中だるみ期間の解消となった“ある出来事”について教えてください。）

入会して2、3年後だったとおもいますが、急速に中央会に対する魅力を失っていききました。今おもえば、自分はどちらかというと積極的に友達を作るタイプでなかったので何事にも受け身だったようにおもいます。親しい友人もできなくて自然に出なくなっていく、つまり自らの気持ちの持ちようが招いた結果だったとおもいます。そんな折、当時委員長だった松本哲哉先輩が心配してわざわざ会社にまで出向いて下さいました。とても嬉しかったことを覚えています。こんな自分に声を掛けて下さった、という感謝の気持ちでいっぱいになり、また出席するようになりました。出始めたら月2回の交流が楽しくなり、少しずつ友人も増えていきました。今となっては中央会時代の友人は私のかげがえのない財産となっています。

（いち会員の頃と役職に就かれてからと、ひとつの事柄に対して違う視

点に立ったということはありませんか？）

いち会員の頃は、年齢も若かったせいもありましたが、『自分がしなくても誰かがしてくれる。』とか『誰かについていけばいい。』という感覚でおりました。しかし、自分が役職に就けば人任せというわけにはいかなくなります。たとえば、委員長であれば委員会のテーマや運営方法などを自分で考えざるをえなくなる、といった具合に。いち会員でいることは決して悪いことではないとおもいますが、役職に就くことによって学べることがあります。また、役職を経験しないとわからないこともあります。役職が自ら学ぼうという意識を自然と高めてくれるようになりますね。せっかく中央会に入ったのだから、チャンスがあれば一度は受けた方が良くとおもいます。

【後記】

静かに、そして謙虚に語られる言葉に先輩・友人への感謝のおもいが溢れていた角田OB。『能力のある人だけでやるのではなく、仲間を作り、共に支え合い、励まし合ってひとつのことを成し遂げることが重要。』との締め括りの言葉に、友人・仲間の大切さを改めて認識したインタビューでした。角田OBにおかれましてはお忙しい中、長時間にわたりお付き合いいただき、心より感謝申し上げます。

（広報：桶村清子）



## 年間テーマ欄休止のお知らせ

現在、広報委員会は半年間勉強してきたIP（知的所有権）について、小冊子にするべく内容のまとめにしております。毎月の「知らないと損する『IP』わあ〜」は休止いたしますが、年度末に皆様のお手元へ内容満載でお届けいたしますので、それまで楽しみにお待ちください。

今月からは、佳境に近づいてきた各委員会の勉強風景を総力取材でお送りいたします。

広報委員会一同

## 寿の突撃！隣の委員会



我々特命突撃取材班は、1月11日（金）に行われた情報メディア委員会に潜入することに成功した。以下は渾身の取材レポートである。

6:30PM…会場となった（株）インサイトに会員が集合し始める。その数12名。事前に入手した資料によると、今回の協議事項はドメイン取得の件とホームページ（以下HP）作成実演が柱になるようだ。また、今回ニューカマーズ委員会より松江会員が正式に委員会に加わると聞いていたが、彼は既に委員長のような風格で完全に雰囲気溶け込んでいたのには驚かされた。

7:00PM…定刻に委員会はスタート。報告事項の後、協議事項であるドメイン取得の議題に入ると議論は白熱した。

委員会では独自ドメイン取得を機に、西部青中HPと協業サイトをひとつにまとめる作業を計画中であるが、「統一させる意味」という基本的な点まで掘り下げて検討が行われていた。単に既製のものを一緒にするのではなく、HPに訪れる視点からの話し合いは進められていた。

次に島山副委員長の講師によるHP作成の実演。これはHP作成ソフトを使わず、データ（文字）を入力することによってHPがいかにか作成されるかを体験する趣向のようだ。委員会のメンバーの中には「アナログ派」の人も確実に存在したが（もちろん取材班も）、あまりの面白さに全員完全にはまってしまったようだ。その証拠に『できた〜!!』とか『お〜っ!!』などの言葉が何回も聞かれた。（『委員長！この実演ははっきり言って金取れます!!』）

9:10PM…委員会終了。…というか無理やり終了させた感じ。おそらく時間を決めていなければ深夜まで彼らはやっていた。「知らないことを知る」ということがいかに人を興奮させるものであるかということ今回の取材で発見した。『情報メディア委員会あなどり難し!!』—以上で報告を完了する。—

（広報：植田寿雄）

## テッシ〜の突撃！隣の委員会

1月10日（木）、高橋孝之OBを講師に迎えての経営委員会がホームサムインかいけにて開催された。経営委員会の年間テーマは「景気が一向に良くならない日本経済の荒波の中、いかに生き残っていくか、いかに社員とその家族を守っていくかを学ぶ」であり、その実践方法は、中央会のOBの方々に講演いただくというスタイルで年度当初より進めてこられた。これは、まさに岩田会長の掲げるテーマのひとつ“温故知新”を経営という観点に立って味付けしたスタイルといえよう。

委員会はスムーズに進んでいくが、何か一本ピンと張り詰めた緊張のようなものを感じた。それもそうである。2月例会は経営委員会の担当例会であり、今委員会はその最終打ち合わせの段階である。2月例会では、パネラーとして数名のOBの方をお招きして経営問答をするという。『成功させるんだ!』という委員会メンバー全員の意気込みが生んだ緊張と推測する。

講師先生高橋OBの第一声は『私は昔、病弱で勉強もできず、お金もありませんでした。今の私があるのは、中央会の多くの友人のおかげです。』であった。優しい眼差しの中に燃える志を秘め、ひとりひとりと視線を合わせながら話を進めていられる。

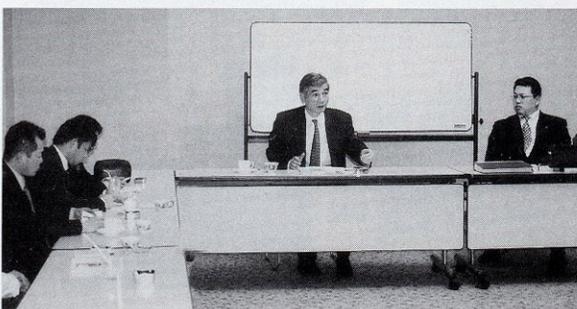
『報道カメラマンになる夢が叶わず、そのことが今の山陰ビデオシステムをするきっかけとなりました。その会社が成功したのも病気で入院したのおかげです。長い闘病生活の中で友人ができ、退院したら人の3倍がんばると約束して、「3年後にはビルを建てる」と目標を語り合いました。目標が決まれば自分に甘えは一切許さず本気で取り組みました。そして3年後には目標は叶いました。それから新たな夢に向かってチャレンジを続け、ケーブルTV、サテライトと多くの友人に助けられ応援してもらって夢を実現することができました。』と語られた。

氏の人生観は、1. 目標を持ちそれを社員と共有する、2. その目標をいつも描き続ける、3. 人に目標を公言する、4. 自分に甘えない、5. 社長は常にトップセールスマンであり続ける、6. 社長としてのプレゼンテーションを身に付ける、7. 死生観を持って生きる（明日死ぬかもしれないので今この瞬間を一生懸命する）、であった。

最後に『目標を立てて本気でやってみてください。本気でやれば必ずできます。できないときは、どこか自分に怠慢や甘えがあったからです。私の生き甲斐は一生本気でチャレンジすること、夢と危機感を常に持って目標にチャレンジすることです。』と熱く括られた。

氏の話聞き終わって、15年前に聞いたある講演を思い出した。その講師先生も（時間軸こそ違えども）、友人と夢の大切さを切々と訴えかけてこられた。その講師先生こそ何を隠そう“経営の神様”故・松下幸之助氏であった。どの時代においても、成功者には共通点があるもので、中央会の先輩に高橋OBのような多くの成功者の方々がおられることに誇りと感動を覚えながら自分もその一員に加わられることを夢見てペンを置くことにする。最後に、経営委員会の皆さんが、2月例会でその経営手法をどうフィードバックしてくれるのか今からとても楽しみである。突然の取材にひとつ返事で許可していただいた岩崎委員長に感謝いたします。ありがとうございました。

（広報：手島武司）



# 1月度委員会報告

## きずな委員会

平成14年1月9日(水) 於：ホテルサンルート米子 出席者/11名  
 内容/①1月担当例会の打ち合わせ。  
 ②2月、3月の委員会講師先生の検討。

## 情報メディア委員会

平成14年1月11日(金) 於：(株)インサイト 出席者/11名  
 内容/①独自ドメイン取得進捗状況  
 ②ホームページ作成実習

## モラル委員会

平成14年1月10日(木) 於：米子食品会館 出席者/8名  
 内容/①2月以降の委員会の活動の協議

## 経営委員会

平成14年1月10日(木) 於：ホールサムインかいけ 出席者/12名  
 内容/講師：第17期御卒会の高橋孝之OB (株)山陰ビデオシステム 代表取締役)による講演

## Newカマーズ委員会

平成14年1月11日(金) 於：焼肉いろは本店 出席者/11名  
 内容/①12月忘年例会の反省  
 ②後期の活動について協議

## 政治行政委員会

平成14年1月10日(木) 於：ホールサムインかいけ 出席者/11名  
 内容/①3月担当例会打合せ

## 広報委員会

平成14年1月9日(水) 於：デリラウンジ夢 出席者/12名  
 内容/①ハンサム1月号について  
 ②知的所有権小冊子発行について

## 総務委員会

平成14年1月9日(水) 於：海潮園 出席者/14名  
 内容/①12月に行ったアンケートの結果報告  
 ②4月レクレーション例会の打ち合わせ

## 副委員長会議、開催さる！

1月25日(金)、平成13年度副委員長会議が開催された。本来ならば、当日の内容紹介に紙面の大部分を割くところだが、今回はあえて開催に至る経過報告を中心にさせていただきます。

11月初旬：過去の開催例を知り、また某先輩会員の勧めもあって実現に向けた準備を始める。勝手に代表幹事を宣言する。(^^)ノ

↓  
 12月初旬：四役会への上申書作成。特に「開催趣旨」「内容」に気を遣う。(@\_@)

↓  
 12月27日：四役会開催。四役会に上申。いかなる審判(?)が下るのか不安…。(^\_^;)

↓  
 1月7日：役員会開催。四役会で承認いただいて気が抜けたのか添付資料作成を忘れる。(T\_T)翌8日、各委員長宛に謝罪の意味もこめてFAX。m(\_)\_m

↓  
 1月21日：四役会と役員会で承認いただいた行事であるということを確認するために「バッヂ着用」「通常の委員会に準じた進行」を記したFAXを各副委員長宛に急遽送付。(.-.)

↓  
 1月25日：19時より、よろづやにて開催。d(^\_^)b 店内で偶然、藤居忠弘OBと山本俊文OBに遭遇。「先輩！後輩もがんばっています。」と胸を張って言う(ただし、心の中で)。(\*\_\*)

当日は、仕事の都合でどうしても参加できない1名を除き7名の参加があった。互礼・綱領唱和を行い、早速ざっくばらんな意見交換会へと発展していった。テーマは、①上期委員会運営を振り返っての反省点・改善点等、②担当例会が終了した副委員長からの助言、③合同委員会開催の可能性について、そして副委員長として避けて通ることのできない④委員会出席率について、等々。その中で、特に印象に残った発言のひとつに、『委員会という舞台のプロデューサーが委員長であることは間違いないのだが、われわれ副委員長はディレクターとして補佐すべきで、決して大道具であってはならない。』があった。

その他の発言は文字数の都合により後日に譲ることとするが、参加者全員の『また、やろう。』の発言が本音であったことは21時終了予定が23時になっていたことが証明する。

(広報副委員長：後藤公平)

## ガ・ダチョウ

『1月広報委員会・新年イベント会食がDay Lounge夢のメニューになっちゃいました！』というのも忘年委員会の終了時に『今回は猪と鴨を食べたから次回はダチョウがいいな！』と副委員長の後藤氏からレンピのオーダー！？夢の厨房担当は嫌と言えない性分、『分かりました。早々にダチョウ肉を探して調理させていただきます。』と快く返事。しかしダチョウ肉の仕入れ・調理法・材質・食感、全てにおいて???色々調べ探して行った所が岡山県の山の頂上の牧場。その日に限って大雪の山道。辿り着いたら雪のため閉店。しかし2日後のイベントだから帰る訳にもいかず閉店の厨房から強引に、ありったけのダチョウ肉を頂いて帰り早速試食をし、『美味しい！軟らかい！！こりゃいける！！』と自己満足。『メニューにしてみよう…。』こんなチャンスを頂けた後藤氏が神様に見えてきた。後日会食も無事に終了。萬田副会長も閉店後ダチョウチャンジャのお代わりでもう一盃。こんな事から厨房担当はメニューにしちゃいました。

ダチョウで健康美食を！

『いっぱい食べても、あれっ？太らない！高タンパクなのに低カロリー・低脂肪。無臭で軟らかく牛肉の味・食感。健康・ヘルシー。貴方の味方ダチョウ肉！』メニューは現在6種類、一品¥700(税込)からご提供させていただきます。これからは色々工夫をしていきますので、ご意見・ご提案の程宜しくお願致します。

(広報：平野忠司)



## ダチョウで健康美食を！

高タンパクなのに低カロリー・低脂肪  
 無臭で軟らかく・子牛肉の味

### MENU (税別)

(16:00-21:00) 各10分程度

ステーキ	SUTEKI	¥1,524
ユッケ	YUKKE	¥953
かつ	KATSU	¥1,524
唐揚げ	KARAAGE	¥1,143
チャンジャ	CYANNJYA	¥6.67
焼肉	YAKINIKU	¥1,429
セット	SETTO (ステーキ・ユッケ・唐揚げ・サラダ)	¥3,333

## 言わしてごしない

Part 7

### 中央会に学ぶ

先日、本会の幹部会員に『久しぶり！生きとっただ〜。』と声をかけられた。こんな達者な奴が死ぬ訳ないだろ、と思いながら『いや色々忙しくて大変ですわ。』と応えておいた。特に不良会員になったつもりはないが、役職から暫く遠ざかると存在感がなくなってしまうらしい。

気がつけば中央会に入会して足かけ18年。18年前といえば現在最年少の宮崎会員が10歳の頃には、この会にいた事になります。実際、皆生でチビッ子トライアスロンが開催されていた頃、ボランティアで小学生の彼を応援した記憶がある。考えてみれば本当に長い年月をここで過ごさせていただいた。その間、実に多くの方と知り合い、いろいろな事を学ばせていただいた。

そうした古参会員の戯言として聞いていただきたいのだが、我々ひとりひとりが企業の代表としてこの異業種の会に参加して環境の違う様々な人たちの中で学ぶ事を目的に入会していることは、皆さんよく理解されているところで。しかし、近年少し会員同士が仲良しクラブ化しているように思います。交流を深めるための同好会的な活動も必要ですが、我々が住むこの地域の問題について真剣に語る場が少なくなっている気がします。特に若い世代の会員中心にその傾向が強くと見受けられてしまうのです。第12期の秦野会長時代には地域への提言として「どうする山陰」と題したシンポジウムを開催したこともありましたが、また、これ以外にも中央会活動を通じて地域に対して数々の提言を行ってきました。それができるだけのものであったし、地域の問題に対して真剣に取り組んでいたように思います。また、新人・ベテラン関係なくもっと自由に意見の交換ができていたように思います。異業種の団体である特性をもっと生かして中央会という殻の中だけでものを考えるだけでなく、広い視野で地域社会に目を向けていく事も重要なことだと思います。特に若い会員の皆さんには中央会活動を通して各方面でのさらなる活躍を期待するところです。

ちなみに私については中央会にいないときには、どこかで何かを頑張っています。決してボケッ〜とはしておりませんし、死に体でもありませんので、ご心配なく。

(モラル：野嶋 功)

### 2月役員会報告

2月定例役員会が平成14年2月1日(金)、米子食品会館に於て開催されました。当日の主な議題は、次の通りです。

- (1) 2、3月例会開催の件
- (2) 次年度会長推薦の件
- (3) 新加入会員加入の件
- (4) その他

※尚、詳細については、委員長までご照会下さい。

### 2月例会案内

と き 平成14年2月15日(金) 19:00~

ところ ホテルサンルート米子

内容 中央会先輩経営者を招きパネルディスカッション

演 題 『新世紀 原点への回帰。会社経営の課題と対策について』

※当日、中海テレビの収録があります。

### 所属企業変更のお知らせ

高橋隆一 会員

(変更前) (株)メビウス

(変更後) 有限会社 亀山社中

〒683-0002 米子市皆生新田1丁目6-23

TEL 31-5257 FAX 31-5577

業務内容 広告代理店、飲食店経営、損保代理店

### 土井直前会長の放つ第4弾！！

新規オープン

カルビ屋 大福

米子店

1/25 オープン

R431 上梅ドラゴン横

### 天声 地語

米国中枢を狙った同時多発テロ事件発生から3ヶ月が経過しましたが、その直後から米国市民の団結・国家意志の強さを感じずにはいられませんでした。

報道の中、米国民の国家に対する忠誠心、そして国旗に対する深い敬意といったら…。それにひきかえ国旗・国歌で揺れる某国の国民としてのアイデンティティーはいったい何処にあるのでしょうか？

換言すれば国民の自己認識と国家としての自己表示の不在に嫌が応にも教えさせられます。

私自身、決して〇△主義ではありません。

しかし今からでも決して遅くないのです。

私達だけではなく、その先の先まで民族を思い、この国のことを自分たちのこととして認識し、その想いを持ち寄って皆がおおいに努力していくことが、今この国全体を包んでいる閉塞感を打破するひとつのキーワードではないのでしょうか？